

演題

Trapezoidal analysis

～等脚台形分析の有用性と活用～

平栗デンタルサービス 代表 平栗扶美

日本顎咬合学会認定歯科技工士

有床義歯学会 認定・指導歯科技工士

スタディグループバンビ 代表

抄録

宮城県白石市、白山デンタルラボラトリー総義歯研究所の大野健夫先生が考案された通称“大野の台形法”が誕生してから今年で24年になります。それは日本各地に散らばる門下生によって日々の臨床に活かされ、近年に至っては、世界の臨床歯科医師やテクニシャンからもTrapezoidal analysis(台形分析)と呼ばれ、注目が寄せられているところであります。

私もこれまで、台形法に魅せられた門下のひとりとして考察を深めて参りました。

あらゆる補綴設計の基本的なフレームワークとして台形分析は有用です。またそれを歯科医師と歯科技工士が共通認識として理解し合うことは非常に価値あることと実感しています。台形分析の基本的な考え方と、それを活用したチェアサイドとのコミュニケーションについても私の経験を通じた活用をお伝えしたいと思います。